

# 大切な人に「ネギらい」の 気持ちを込めて

## 能代ねぎらいの日 2020 白神ねぎを 贈りましょう



## Contents

- 02 | Contents
- 03 | **特集①** 大切な人に「ネギらい」の気持ちを込めて
- 06 | **特集②** 行けぬなら、届けます！産地の想い！！
- 08 | 稲作・畑作営農情報
- 10 | あきた白神トピックス
- 12 | 福祉介護課だより
- 13 | 直売所ニュース
- 14 | 西高校生レポート
- 15 | おたより・クロスワード
- 16 | J Aあきた白神からのお知らせ
- 20 | Mama'sキッチン

### 大好評!! 広報しらかみハイライトムービー

毎月、広報しらかみ編集時にはたくさんの写真を撮影します。紙面の都合上、本誌では伝えきれなかった場面をご紹介します！  
右記QRコードを読み取りご視聴ください。  
目指すは動く広報誌!!



能代市環境産業部ねぎ課は11月21日から23日の3日間、勤労感謝の日（23日）に因んだイベント「能代ねぎらいの日2020」をテラタバイパス店様、いとく能代ショッピングセンター様の2店舗で初めて開催しました。

同イベントは、勤労感謝の日に、大切な人へ労い（『ネギ』らい）の気持ちを込めて、花東に見立てた「白神ねぎ東」を贈る取り組みで、東北・北海道で一番の長ネギの生産量を誇る能代市のPRと、大産地としての消費拡大を図ることが目的です。

21日には、ねぎ課のマスコットキャラクター「白神ねぎのん」と今年9月にデビューした「白神ねぎガール」の見上はづきさんが登場し、記念撮影に応じるなどして会場を賑わせてくれました。

11月23日を「ねぎらいの日」として初めて取り組んだのは、ネギの生産量日本一を誇る埼玉県深谷市で、「深谷ねぎらいの日」として2018年に始まりました。

この深谷市を参考に、2019年には千葉県松戸市でも「松戸ねぎらいの日」として取り組まれ、同年に開催した「全国ねぎサミットinまつど」の「全国ねぎサミット宣言」の中で、全国のねぎ産地でも「ねぎらいの日」に取り組み連携を強化していく宣言が採択されたことから、能代市も今年から「能代ねぎらいの日2020」の取り組みをスタートすることとなりました。

買い物カゴに「白神ねぎ」を入れた主婦（53）は「普段は照れくさくて、ありがたうって主人に言えないけど、今日は鍋にしてねぎらいたいと思う。労う気持ちを考えさせる良い企画だと思う。」と話してくれました。





年内最後の祝日が、11月23日「勤労感謝の日」です。1948年に制定された「勤労感謝の日」は、国民の祝日に関する法律の中で「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう日」と制定されています。

「仕事を大事なものと重んじて、その成果を喜び、みんなで感謝をしましょう！」と解釈されます。もともと、11月23日は、その年の収穫物を神様に捧げ感謝をし、翌年も豊作であるように願う日本古来の重要な宮中行事「新嘗祭(にいなめさい)」という名前の祭日でした。

現在も大切な宮中行事として執り行われていますが、戦後に、「勤労感謝の日」と名前を変えました。「新嘗祭(にいなめさい)」が五穀豊穡に感謝する日であったことから、普段当たり前のように口にしてる食物に感謝をする日でもあります。

今の生活が成り立つのは、  
どこかで働くたくさんの誰かのおかげ。



その食物  
美味しく  
料理してくれる方に **感謝**



食物を作ってくれている生産者・販売者の方に **感謝**



今年の「勤労感謝の日」は

皆さんはどなたを

ねぎらいましたか？



白神ねぎのん  
能代市ねぎ課  
マスコットキャラクター

お仕事を頑張った お給料で、その食物を買ってくれる方に **感謝**

